

個別施策評価調書

部長	次長

主管部	教育局	対象年度	平成27年度
関係部	—		—
	—		—

基本施策	教育日本一を目指し教育内容を充実する					
個別施策	6 小中一貫教育の充実					
個別施策の方向	広い視野を持って自ら学び、自ら考え、判断して行動できるグローバルな人材育成のため、幼・保・小連携、小中一貫教育をとおし、「生きる力」＝知・徳・体のバランスのとれた力を育成する。					
これまでの取組概要	子供の成長の連続性の保証、中1ギャップの解消を目指し、学びの連続性、持続性による個に応じたきめ細やかな教育を推進し、9年を見通した弾力・効果的な教育課程（カリキュラム）を編成する中で、「つくばスタイル科」による小中一貫教育の充実を図るため、教職員の研修、学校・教育に対する訪問指導を行ってきた。					
市民意識調査満足度	H27	34.1%	H29		参考値（第3次総合計画市民意識調査結果） 対象施策名：学校教育の充実	38.9%

平成27年度決算及び事業費内訳										(単位：千円)	
H27年度決算	事業費	9,313	人件費	19,830	事業コスト	29,143					
事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	9,313	

個別施策の代表指標名	指標種別	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
つくばの教育研修講座受講者数（人）	活動結果指標	目標値	104	104	104	—	—	—
		実績	104	104	—	—	—	—
		目標値						
		実績						
		目標値						
		実績						

個別施策の総合評価	
総合評価	B 施策の成果が一部確認でき、今後更に推進させるべきである。
自己評価	年2回の訪問指導を行う中で、5月には昨年度の成果と課題及び改善策について検討し、15学園で進捗状況と方向性について確認した。12月には本年度の成果と課題及び改善策について確認を行い、それをもとに学園経営の成果と課題をまとめ、次年度の計画立案を行った。また、「つくばスタイル科」の充実のため、ワーキンググループを組織し、年2回の会議において単元プラン集の内容を検討し発行した。さらに、ICT機器を活用した一貫教育を充実させるためにICT指導員を配置し学校への支援・研修を強化した。こうした取り組みと成果を「教育日本一キャンペーン」を通じて、広く市民に周知した。

個別事業調書

個別施策	6 小中一貫教育の充実														
個別事業名	6-1	小中一貫教育推進事業				担当課	教育指導課								
事業概要	子どもの成長の連続性の保証，中1ギャップの解消，学校の適正規模化の対応などの必要から，小中一貫教育を推進する。特に学びの連続性，持続性による個に応じたきめ細やかな教育を推進し，9か年を見通した弾力・効果的な教育課程を編成する。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程	運 用 													
	事業費(千円)	2,715		1,925		2,543		2,543		2,543		2,543			
事業指標	指標名	—				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値	—				—	—	—	—	—	—			
		実績	—				—	—	—	—	—	—			
活動実績	<p>5月と12月に小中一貫訪問を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月…全15学園において昨年度の成果と課題と改善策について検討し，進捗状況と方向性の確認を行った。 ・10月～11月…小中一貫教育学園研修会（公開授業および研修会）の実施（洞峰学園，輝翔学園，高山真名学園） ・12月…小中一貫訪問を実施し，本年度の成果と課題，改善策についての確認を行った。（上記3学園の他の学園） ・1月～3月…学園経営の成果と課題のまとめ及び次年度の計画立案 														
H27年度決算	事業費(千円)	132		人件費(千円)	14,838		事業コスト(千円)	14,970		正職員従事割合(人)		1.85			
									時間外勤務(時間)		410.00				
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0		県支出金	0		地方債	0		その他特財	0		一般財源	132	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	高：成果が向上（高水準を維持）している														
事業の効率性	高：費用対効果が向上（高水準を維持）している														
総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施														
課題と改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学園各部会の運営の充実と評価 ・学園教員組織による協働的な指導システムの構築 ・コミュニティスクールに向けた学園経営 ・社会に開かれた学校づくり 														

個別事業調書

個別施策	6 小中一貫教育の充実										
個別事業名	6-2	「つくばスタイル科」振興事業				担当課	総合教育研究所				
事業概要	小中一貫教育の基盤となる9年間を見通した市独自のカリキュラムである「つくばスタイル科」について、教職員研修、学校・教員に対する指導・助言を総合的・効果的に実施し、充実にを図る。										
工程表	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	工程	運用 									
	事業費(千円)	2,682	3,377	3,524	3,493	3,493	3,493				
事業指標	指標名	つくばの教育研修講座(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
			目標値	104	104	104	—	—	—		
			実績	104	104	—	—	—	—		
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回のつくばスタイル科ワーキンググループを実施し、単元プラン集の内容を見直し、新年度に実施する内容について練り上げ、発行した。 ・つくばスタイル科を学ぶための研修講座を企画し、管理職及び各校の小中一貫教育を推進する教員を対象に研修を実施した。 ・ICTの活用に関して、希望研修も含め、教員が自主的に研修を受講できるよう講座を実施した。 ・各校の要望に応じ、つくばスタイル科におけるICT機器の活用の際に、ICT指導員を派遣し、サポートを行った。 										
H27年度決算	事業費(千円)	3,377	人件費(千円)	2,243	事業コスト(千円)	5,620	正職員従事割合(人)			0.30	
							時間外勤務(時間)			5.00	
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	3,377	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された										
事業の有効性	中：適切な成果が得られている										
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている										
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施										
課題と改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回のつくばスタイル科ワーキンググループにおいて、つくば次世代型スキルをつくばスタイル科の各単元の中での位置づけるための検討を行う。また、次の学習指導要領で重視される思考スキルをつくばスタイル科の単元の中に位置づけるための検討を行う。 ・教職員への研修として小中一貫教育の推進に向けた悉皆研修及び希望研修を設け、教職員のニーズや教育界の動向に即した研修を企画していく。 ・つくばスタイル科単元プラン集では、単元プランの思考スキル位置づけた実践事例を掲載することで、次の学習指導要領で重視される思考スキルについて市内の教職員に周知していく。 										

個別事業調書

個別施策	6 小中一貫教育の充実														
個別事業名	6-3	豊かな心育成の推進				担当課	教育総務課								
事業概要	学園単位（6年生及び7年生を中心に）で、芸術鑑賞会等の情操教育に取り組むとともに、児童生徒の交流授業等を実施する。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程	運用 													
	事業費(千円)	4,140		5,169		5,900		5,900		5,900		5,900			
事業指標	指標名	—				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値	—				—	—	—	—	—	—			
		実績	—				—	—	—	—	—	—			
活動実績	全15学園で、演劇や音楽鑑賞、古典芸能の鑑賞等を実施。 劇団四季こころの劇場は、1/19, 20に実施し、市内全6年生約2,200名が参加														
H27年度決算	事業費(千円)	5,169		人件費(千円)	1,591		事業コスト(千円)	6,760		正職員従事割合(人)		0.20			
											時間外勤務(時間)		39.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0		県支出金	0		地方債	0		その他特財	0		一般財源	5,169	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	中：適切な成果が得られている														
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている														
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施														
課題と改善目標	課題 小学校対象の劇団四季「こころの劇場」は日程調整が難しい。 改善目標 つくば文化振興財団のアウトリーチ事業を利用するなど、低予算で効果的な事業を実施する。														

個別事業調書

個別施策	6 小中一貫教育の充実														
個別事業名	6-4	教育日本一キャンペーン事業				担当課	教育総務課								
事業概要	毎年11月をつくば市の教育月間として「つくば市教育日本一キャンペーン」を実施し、さまざまな形でつくば市の特色ある教育活動に関する情報発信を行うほか、市民等が教育への関心を高めるための啓発的な事業を実施する。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程	運用 													
	事業費(千円)	427		265		718		1,018		1,018		1,018			
事業指標	指標名	—				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値	—				—	—	—	—	—	—			
		実績	—				—	—	—	—	—	—			
活動実績	11月を教育月間と位置づけ、教育日本一キャンペーンとして15学園の特色ある教育の紹介、教育講演会の開催等を実施した。														
H27年度決算	事業費(千円)	265		人件費(千円)	786		事業コスト(千円)	1,051		正職員従事割合(人)		0.10			
											時間外勤務(時間)		16.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0		県支出金	0		地方債	0		その他特財	0		一般財源	265	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	中：適切な成果が得られている														
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている														
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施														
課題と改善目標	<p>課題 PR内容や実施内容について、検討が必要である。</p> <p>改善目標 教育日本一キャンペーンを学園を中心に実施し、保護者や地域へ浸透させる。</p>														

個別事業調書

個別施策	6 小中一貫教育の充実														
個別事業名	6-5	幼保小連携教育推進事業				担当課	学務課								
事業概要	幼稚園児・保育所児と小学生が交流事業をとおして、相互の様子を確認し、教師間の合同研究会により、保育や教育の違いを理解し就学後の教育に繋げる。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程	運用 													
	事業費(千円)	719		370		370		370		370		370			
事業指標	指標名	—				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値	—				—	—	—	—	—	—			
		実績	—				—	—	—	—	—	—			
活動実績	花植えや工作、レクリエーションなどを通して幼児と児童の交流事業を小学校37校で実施した。また、小学校の1日体験や幼稚園教諭、保育士、小学校教諭間での交流を実施した。														
H27年度決算	事業費(千円)	370		人件費(千円)	372		事業コスト(千円)	742		正職員従事割合(人)		0.05			
											時間外勤務(時間)		0.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0		県支出金	0		地方債	0		その他特財	0		一般財源	370	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	高：成果が向上（高水準を維持）している														
事業の効率性	高：費用対効果が向上（高水準を維持）している														
総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施														
課題と改善目標	小学校と幼稚園、保育所等が隣接していない場合、交流事業のための交通手段の確保が難しい。														